

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和2年9月29日

村山 章

三十数年前だったと思います、日本人は働きすぎだと欧米から非難され一週間の労働時間が40時間になりました。以前は一日24時間で労働8時間、睡眠8時間、食事その他で8時間と考えていました。そのため人生の多くは労働が占めていました。多様な働き方を可能にすることで働き手を増やすのを目的にした「働き方改革」が一挙に進んで、今はいかに労働時間を減らすかが考えられています。

私たちは仕事によって生活の糧である賃金を得ています。それも確かに重要ではありますが、日々の仕事から新たな知識を獲得し、人間関係を築く能力を学び、能率的に仕事をこなす知力を身につけているのも事実です。力を合わせて仕事の目標を達成したときは何物にも代えがたい喜びを感じます。このように仕事を通して私たちは、実に多くのことを学び、身に付けているのだと思います。

ある弊社従業員は、前日の土曜日が遅番にもかかわらず、日曜日早朝から出社し掃除や機械のメンテナンス作業を行っていました。ところが、月曜日にタイムカードを見たらその作業分の印字がされていないのです。それを本人に言ったら「日曜日なので賃金はおりません」という返事が返ってきました。立派で美しいですね。自分の仕事に納得するためにのみ日曜日の早朝に出て作業をやっていたのだと思います。仕事が生きがいとなり、仕事から多くの幸せを得られるようになりたいものです。

とかく若いときは目先の損得に目を奪われ、少しでもラクに多くの賃金を得たいと考えがちです。でも仕事の本当の価値はお金ではありません。低所得の労働者の生活向上を目指す経済民主主義のもとで、日本の物価を下げて日本国民の生活を豊かにするんだと努力をしている方々も多数おられます。「変化こそ進歩と考えて挑戦していくのがビジネス」と学びました。失敗から学び、努力に努力を積み重ね、仕事を通して少しでも人様に、社会に貢献できたら最高の幸せと思います。